

Access Report

2018年 6月 10日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	学校情報	教育情報	その他	その他
・城北中 ・品川女子学院 ・立教女学院		・世界大学ランク 日本版 ・私立大学入試 ・大学入試	・名言・迷言・冥言 ・三重苦の水族館	・ほめると子どもは ダメになる ・モンスター大学 生

学校情報

城北中 塾対象説明会(2018年5月24日)

2) 入試について

1. 入試の考え方

現在の日本における中学・高校・大学の教育環境は変化の時を迎えております。2020年に大学入試ではセンターテストが廃止され、各大学は新たな選抜方法を模索しています。知識の詰め込みだけではなく、知識を様々な場面で活用する能力や、自ら問題を見つけ解決していく能力を育てていくこと、グローバルな人材を育てていくことが重要になっています。

城北学園では創立以来の2つの柱『人間形成』と『大学進学』を掲げています。時代は移りましたが『社会でリーダーとなってほしい』、『多くの人を支えるような人間になってほしい』という思いは変わりません。私たちはこのような思いを土台に据え、様々な能力の育成を高いレベルで実践するべく、カリキュラムの構築及び授業の実践・展開を進めていきます。

入り口である城北学園の入学試験においては、帰国生の受け入れや高等学校での推薦入試の導入など、多様な生徒の受け入れ、新たな時代の人材を育てていきたいと考えています。

また、入試問題においても従来の出題に加え、2020年の大学入試を見据えたものや、城北学園の教育内容を反映したものを導入していきたいと考えています。これは、従来から実施されている

入試を大きく変更するものではありませんが、新たな時代に向けて、もう一度城北での教育を再考し、入試を通してそのメッセージを伝えていきたいと考えております。

2. 2019年入試

2019年の城北中学入試・高校入試の実施については、2018年と同様の日程、試験科目で予定しています。インターネットによる出願・合格発表・入学手続きを行います。詳細に関しては検討中のところもありますが、決まり次第発表いたします。

2019年中学入試

第1回 2月1日 約115名 4科

第2回 2月2日 約125名 4科

第3回 2月4日 約 30名 4科

国語(50分100点)・算数(50分100点)・社会(40分70点)・理科(40分70点)。

2019年高校入試

推薦入試 1月22日 約20名

一般入試 2月11日 約65名

推薦入試の出願は、合格後の入学を確約できる生徒に限ります。

推薦入試は国語(50分100点)・英語(50分100点)・数学(50分100点)・面接、調査書(45点)

一般入試は国語(60分100点)・英語(60分100点)・数学(60分100点)

インターネットによる出願・合格発表・入学手続き

2017年よりインターネットによる出願・合格発表・入学手続きを実施しています。2019年も引き続き実施いたします。

また本年度行われる説明会などは本校のホームページからの予約制になります。受験生への細やかな情報提供を行っていきます。2018年の中学の2回、3回の入試では入試前日の23時まで出願できる形でした。2019年度の出願の日程などの詳細は9月に発表予定です。

3. 中学入試

本校の中学入試は2001年入試より2月1、2、4日の3回体制となり2018年度入試で18回を数えました。また、募集人数は2004年から2015年までは順に120名、130名、30名の計280名でした。2016年入試から募集人数を順に115名、125名、30名、計270名とし、現在に至ります。

2月1日の1回入試

本校を第一志望とする受験生が中心。例年合格者の手続き状況もよいため、追加合格は想定していません。応募者は2年連続で増加し(313→331→372)、倍率も上昇しました。合格から入学までの手続きは例年通りで合格者の86%が入学しました。

2月2日の2回入試

2月1日に他校を受験した子供、つまり併願者中心の応募者で構成されます。学力の接近した子供たちが集まり、数点の違いで可否の分かれる入試となります。例年手続き状況を考慮しつつ、追加合格を出すことも想定していますが、2018年の追加合格はありませんでした。2018年は応募者、実受験者数共に増加し、倍率も上昇しました。

2月4日の3回入試

この時点で、まだ合格を得ていない子供たちにとっての大きな受験機会です。我々にとっては必要とする入学数の最終的な調整の役割を持たせたものとなっており、少数の募集人数に対して、年によってはかなりの実受験者と高い倍率になる可能性があります。2018年は実質倍率が5倍でした。

4. 2018年入試結果

	第1回	第2回	第3回	
募集人数	115	120	30	
応募者数	372	779	353	
受験者数	353	659	258	
合格者数	134	342	74	
合格点	217	226	234	(340点満点)
最高点	275	322	284	

(報告 G. Wa)

<https://www.johoku.ac.jp/>

品川女子学院 紙上学校説明会

(送付資料より抜粋)

1. 中等部入試について

2018年入試もおかげさまで無事に終わることができ、新入生209名を迎えることができました。今回から実施した算数1教科・午後入試では346名の受験があり、また3年目を迎えた2月4日「4科目表現力総合型入試」でも、197名の受験生が記述問題と300字の論述にチャレンジしてくれました。2019年度入試の募集要項は現在のところ前回と同様です。2月1日午後は算数1教科入試を、4日は4科目表現力・総合型入試をおこないます。

2月1日 算数1科午後入試(定員20名。100点満点。集合15時または16時)

2月4日 4科目表現力・総合型(定員30名。合格発表2月5日)

試験Ⅰ:表現力総合型(主に算数・社会・理科)120点、70分。

知識の有無を単純に問うような問題は出題しません。考えた過程を示して解答する記述問題がメイン。

試験Ⅱ:読解・論述型(国語)40点、50分。

論説文や随筆を読み、要約、説明、意見を述べる論述問題が中心。

その他、入試の仕組み

- ・合否判定の際、ボーダーラインの近くで複数回受験者は考慮。
- ・海外で小学校へ通っていた帰国生へ加点。
- ・英検3級以上取得者へ加点。(帰国生・国内生を問わず)
- ・入学を辞退する方への返金制度。(期限までにお知らせいただければ入学手続き金25万円を全

額返金)

・合格した日付より後の試験に出願した方が入学手続きをする場合、未受験分の受験料の返金。

2018年度入試結果

入試日	2/1	2/1P	2/2	2/4
試験科目	4科	算数	4科	4科表現
募集人数	90	20	60	30
応募者数	254	360	396	305
受験者数	246	346	245	197
合格者数	109	131	108	51
合格基準	193	76	179	102
(満点)	320	100	320	160

2. 2018年3月 大学入試の結果の報告(実際の進学先)

品川女子学院では高2から文系理系に分かれます。コース制や選抜クラス制は実施しておりませせん。

2018年3月 卒業211名

4年生大学進学者194名 短期大学2名 受験準備15名

国公立大学進学(進学 計17名)首都大学東京4、千葉大学1、東京外国語大学1、東京海洋大学1、東京学芸大学1、東京農工大学1、横浜国立大学1、横浜市立大学1、新潟大学1、三重大学1、佐賀大学1、琉球大学1、国立看護大学校1、防衛医科大学校1

(合格のみ)首都大東京2、千葉1、東京外語1、徳島1、防衛大1

私立大学進学(抜粋)早稲田9名、慶應7名、東京理科7名、上智6名 計29名

明治11名、青山学院9名、法政7名、立教6名、中央3名、学習院3名 計39名

日本女子9名、津田塾2名、東京女子1名 計11名

※合格のべ件数、その他の大学、進学先の全学部はHPにて。

3. 最近の品川女子学院

今年は文部科学省から「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」の指定を受けて5年目となります。引き続き教育研究校として「学校と社会が連携し、起業マインドを持つ女性リーダーを育成する研究」を実践しております。

例えば「ITを用いた問題解決型授業」では、高2の家庭科の時間に、高校生の視点で身近な問題を発見し解決に向けて考察や実験、プレゼンなどをおこない、学年代表の班はオーストラリアにて開かれた研究発表会で意見交換をしました。

生徒は中1からiPadを個人で所持しておりますので、学校生活や授業、自宅学習等で活用しております。中等部の英語の授業は日本語をあまり使わない授業展開へシフトしており、テキストは『Bridge to MEL』を使っています。英検の取得級は中等部終了時に準2級を持っていた生徒が78.7%です。

中3の3月に行くニュージーランド修学旅行は全員が参加します。さらに希望者は高1で3ヶ月または10ヶ月の留学が可能で、例年10～15名程度が参加しています。

ダンス部は昨年度の中3が日本ダンス部選手権の全国大会で3位になりました。吹奏楽部は春休みの定期演奏会を経て、5月のGWには銀座柳祭りにバトン部と参加し、パレードのトリを務めました。

<http://www.shinagawajoshigakuin.jp/>

立教女学院 塾対象説明会(2018年5月22日)

2)入試報告および学校紹介 中学校教頭 浅香先生

1. 2018年入試結果

	一般生	帰国生	立教女学院小学校	
募集定員	約110	約20		
応募者	291	82	71	
受験者	282	81	71	
合格者	131	36	71	
実倍率	2.2	2.3		
入学者	112	20	71	入学者合計 203名

繰り上げ合格 なし

併願校として多いのは、青山学院、明大明治、慶應湘南藤沢など。

合格点 194点／300点(64.7%)

2. 2019年入試

募集要項、願書は9月3日(月)より配布

一般入試

面接 1月26日(土) 保護者同伴

筆記 2月1日(金)

発表 2月1日(金)21:00～(ホームページ)

2月2日(土)9:00～12:00(掲示)

手続 2月2日(土)9:00～12:00

出願期間 1月10(木)～1月18日(金)消印有効、簡易書留速達

帰国生入試

筆記、面接 12月21日(金)

発表 12月21日(金)18:00～(ホームページ)

12月22日(金)9:00～12:00

手続 12月22日(土)9:00～12:00

出願期間 11月29日(木)～12月6日(木)消印有効、国内からの簡易書留速達に限る

3. 過去の出願者数

(一般入試)

年度 募集定員 志願者数 受験者数 合格者数 実質倍率

2015	約110名	375名	344名	134名	2.6
2016	約110名	248名	240名	122名	2.0
2017	約110名	288名	282名	124名	2.3

(帰国生入試)

年度	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	実倍率
2015	若干名	72名	71名	32名	2.2
2016	若干名	72名	76名	34名	2.2
2017	約20名	87名	84名	34名	2.5

4. 学校紹介

創立者の建学の精神『道を伝えて己を伝えず』

創立者は、C.M.ウィリアムズ。日本最初のプロテスタント宣教師(米国聖公会)。

1877年 立教女学院を築地の居留地に設立、関東大震災で現在久我山校地へ。

聖書の言葉

わたしは、こう祈ります。

知る力と見抜く力とを身につけて

あなたがたの愛がますます豊かになり

本当に重要なことを見分けられるように。『フィリピの信徒への手紙』1章9節10節

5. 学校生活

2学期制、授業5日制(年10回程度 土曜集会)

創立以来、制服を定めていない。

中高共に同じ教員によって行われている。

中学校 1クラス 40名、5クラス編成

6. 教育目標

①他者に奉仕できる人間になる

②知的で品格のある人間になる

③自由と規律を重んじる人間になる

④世の中に流されない凛とした人間になる

⑤平和をつくり出し、発信する人間になる

①について～礼拝、土曜集会、ボランティア～

土曜集会は1982年度より中・高で開始、キリスト教教育の活性化をめざす。開始から36年、広い視野で考え、主体的に生きる力を育み、生徒の生き方にも大きな影響を与えてきた。

②について～ARE 学習、卒業論文～

ARE 学習とは、本校の総合学習で、Ask(疑問を持ち)、Research(徹底的に調べ)、Express(発表する)の頭文字を取った命名で、自学自習能力を養う。

ARE 学習の集大成として、高3で卒業論文に取り組む。

③について～生徒会活動、修養キャンプ～

自主性・自発性を重んじ、制服を定めず、生徒会活動を促す。この生徒会は1927年に発足、女子

校としては最も古い自治の伝統を誇る。

「制服の申し合わせ」を生徒会で承認。

生徒会による学校説明会を開催、7月14日(土)13:00～

- ・宗教委員長による、開会のお祈り
- ・生徒会長挨拶
- ・学校紹介
- ・部活紹介
- ・中1による4教科の説明
- ・生徒による校内案内

中学1年生 学校生活のスタートは、4月 新中1オリエンテーション(高3生による)→入学式→生徒会による校内案内→各クラス生徒会(委員会)選挙→生徒会主催 新入生歓迎会

修養会キャンプ・プログラム(中1、中2、高1、高3)は、6月～7月に2泊3日で、生徒の発達段階に合わせたカリキュラムで行う。グループワーク・共同体験(ロールプレイ、人間関係訓練、傾聴訓練)・リーダーシップトレーニング・ディスカッション→自己。他者の発見を。

④について～国際交流・国際教育～

伝統に裏付けられた国際交流(アメリカ・ニュージーランド・フィリピンの姉妹校と交換留学)、様々な留学プログラムを用意し国際的視野と異文化を理解し尊重する力を培う。また、全日本高校模擬国連大会の全国大会には連続出場している。

⑤について～平和学習・修学旅行～

平和学習としての修学旅行で、中学3年は長崎へ(原爆資料館・ザビエル記念聖堂・遠藤周作文学館・大浦天主堂・天主堂・出津教会堂、長崎証言の会フィールドワーク、日本26聖人殉教地、C・M・ウィリアムズ宣教師館跡、その他)、高2は沖縄へ(沖縄戦の体験者から話を聞き、基地問題についても学ぶ)。

4)トピックス「大学入試改革と立教女学院の進路指導」 高等学校教頭 山岸先生

(1)進路の決定はどのように？

中学校での様々な人間づくりのための活動から始まる→生き方を考える土台を形成

(2)高等学校コース制

・高1:全教科必修

・高2、高3:コース制

理系コース:理系進学希望者

文Ⅰコース:立教大を除く文系進学希望者

文Ⅱコース:立教大推薦希望者、理・文Ⅰ以外の進学希望者

※高校ホームルームは4クラス、学習は、コースの5～6クラスに分かれる(音楽・体育などの必修以外)

(3)立教大学推薦のための条件(受け入れ総数121名)

- ・卒業要件の充足
- ・卒業論文を提出し、認定されること

- ・英語についての一定に能力(英検2級程度)
- ・高校生活(学業・出欠状況等)が良好
- ・立教大学各学部への進学的意思および意欲があること
- ・学校長が責任を持って推薦できると判断されること

(4) 主な指定校推薦(2018年度入試)

慶應義塾(商2・法1・理工1)、ICU(教養1)、上智(法1・総合グローバル1・理工1)、聖路加国際(看護2)、東京女子医科(医1)、東京理科(経1・理1)、早稲田(基幹理工1・先進理工2)、その他多数

(5) 2018年3月 高校卒業生進路状況(卒業生182名)

立教大進学90名(49. 5%)、他大学受験92名(50. 5%)

(6) 進学状況

国公立6…東京1、東京工業1、北海道1、会津1、山梨1、防衛医科1

私立157…立教90(98)、早稲田13(19)、慶應義塾14(21)、上智6(11)、ICU3(3)、東京理科3(5)、東京女子医科3(4)、玉川3(3)、北里2(5)、聖路加国際2(2)、帝京2(2)

※2名以上進学の私立大学、()は合格者

(7) 医学部現役合格者6名

国公立2名(山梨1・防衛医科1)、私立4名(国際医療福祉1・昭和1・東京女子医科2)

(8) 大学入試改革に向けて、学力の3要素に対しては、すでに以前から実践している。

(報告 A. Ta)

<http://hs.rikkyojogakuin.ac.jp/>
